＝浴室3枚引戸取扱マニュアル＝

組立・施工の前に・・・

◆浴室3枚引戸施工時のお願い

この度は、「浴室3枚引戸」を御採用頂き誠に有難うございます。この商品を正しく、安全に組立･施工して頂くために、このマニュアルをよくお読みの上、作業を行って下さい。

＝安全のため必ず御守り下さい＝

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容です。
人身事故や財産への損害を未然に防止する為、次の様な絵表示をしています。
内容をよく理解して、本文を御読み下さい。

絵表示	意味
⚠注意	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
お願い	「必ず行なっていただく事」を示しています。

⚠注意

・商品の組立・施工については、必ずマニュアルに従って作業を行って下さい。

お願い

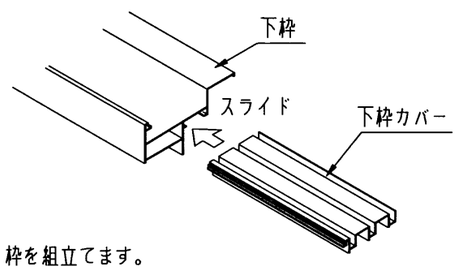
・組立は、所定のビスを使用して最後まで締付けて下さい。締付け不良は、漏水や事故の原因になります。
・取付開口部の水平・垂直・対角寸法及び、ねじれの無いことを確認して下さい。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
・施工完了後、マニュアルの施工内容に従って施工が行われていることを確認して下さい。

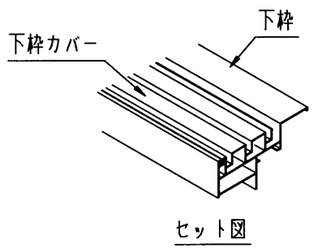
・本製品の障子は工場組立時、脱衣室側視右勝手（右側Ｆｉｘ障子）にて出荷しています。従って逆勝手にする場合は、まず 3 を参照して下さい。

・枠部材の梱包内にセットされているビスセットには、障子建て込み時に必要とする部品が入ってます。大切に保管して下さい。

1 枠の組立

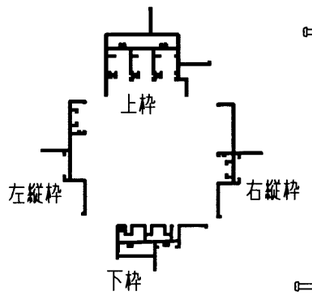
1）下枠に下枠カバーを差し込んで下さい。

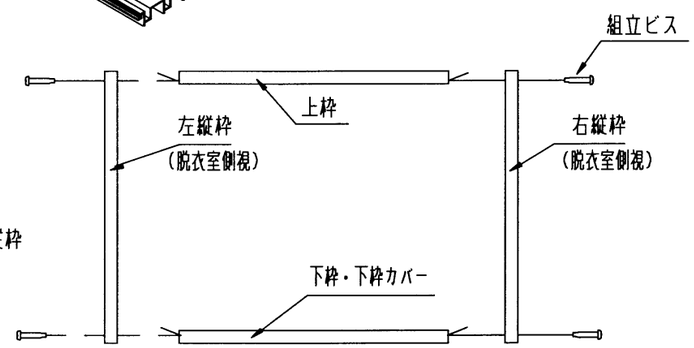




セット図

2）枠を組立てます。

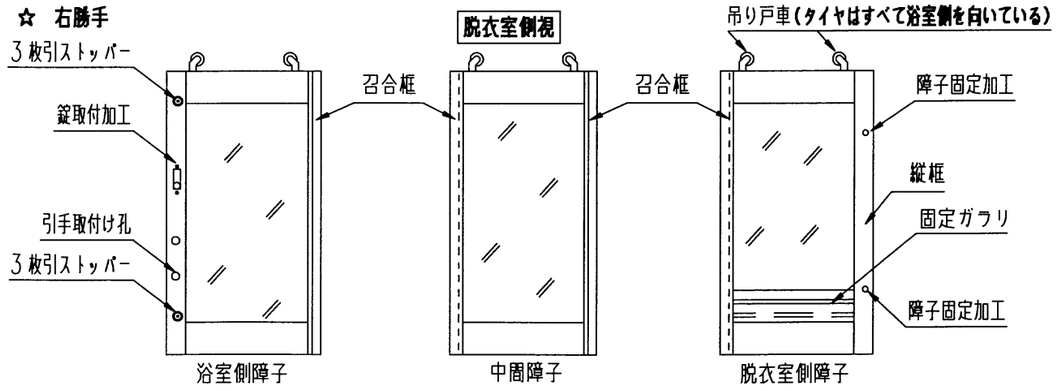




2 障子吊り込みの前に

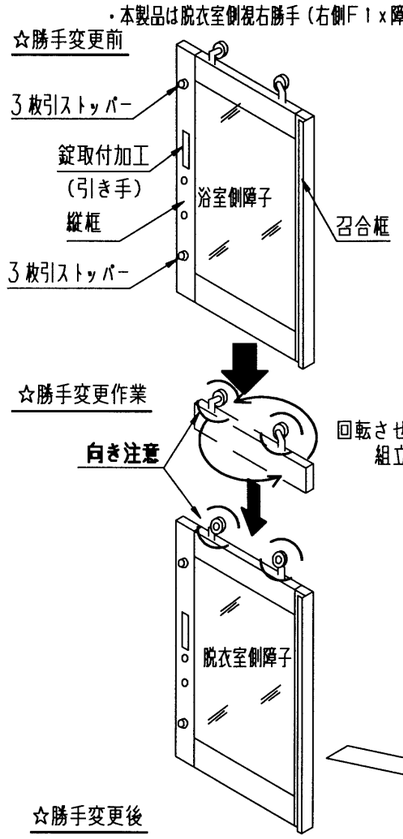
・障子を現場にて吊り込む場合、下図の様に一度並べて下さい。下図商事配置は脱衣室側視右勝手（右側Ｆｉｘ障子）の場合です。

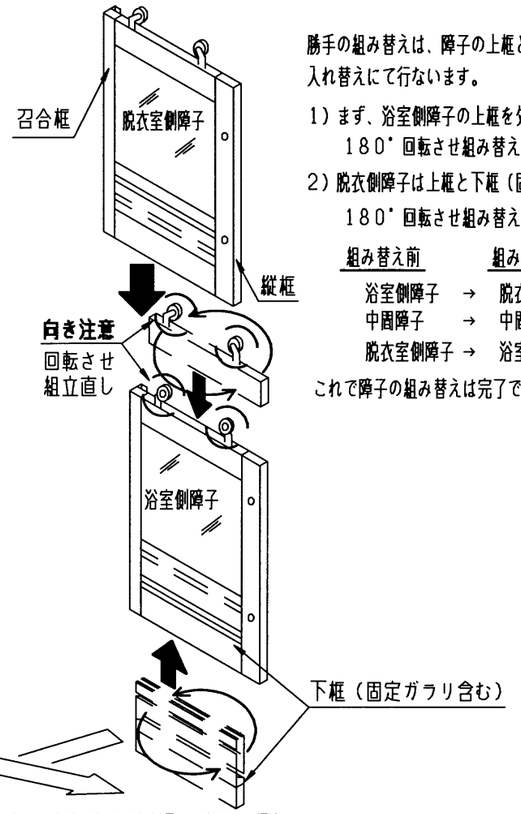
☆ 右勝手



3 障子の勝手組み替えの仕方。

・本製品は脱衣室側視右勝手（右側Ｆｉｘ障子）にて組み立てられている為、逆勝手にする場合は下記の順序に従って行なって下さい。





勝手の組み替えは、障子の上框と下框（固定ガラリ含む）の入れ替えにて行ないます。

1）まず、浴室側障子の上框を外し、180°回転させ組み替えます。

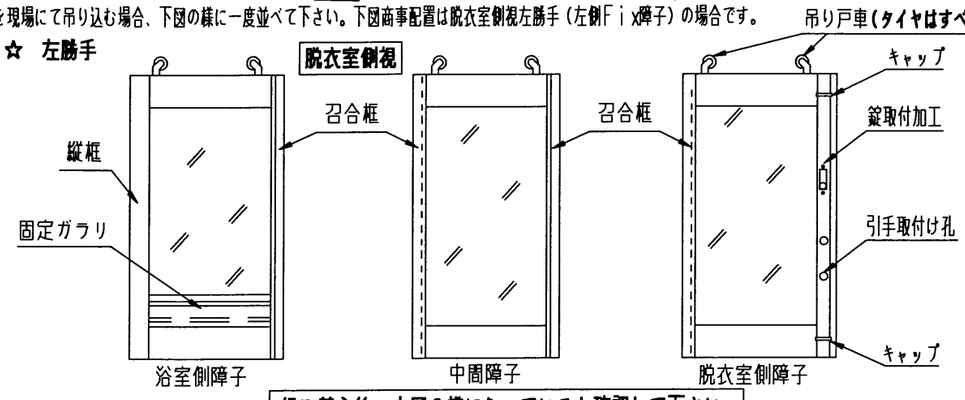
2）脱衣側障子は上框と下框（固定ガラリ含む）を180°回転させ組み替えます。

組み替え前		組み替え後
浴室側障子	→	脱衣室側障子
中間障子	→	中間障子
脱衣室側障子	→	浴室側障子

これで障子の組み替えは完了です。

・障子を現場にて吊り込む場合、下図の様に一度並べて下さい。下図商事配置は脱衣室側視左勝手（左側Ｆｉｘ障子）の場合です。

☆ 左勝手

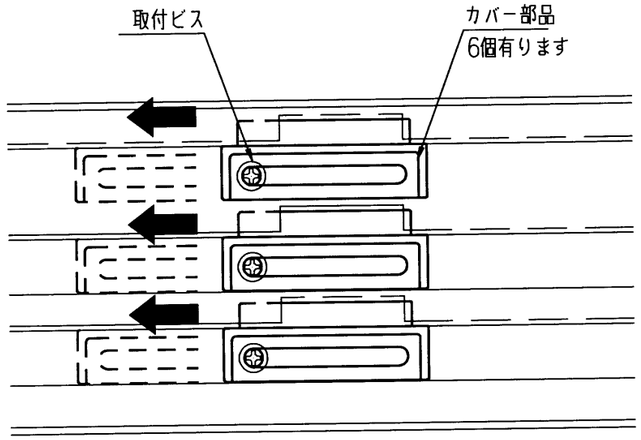


組み替え後、上図の様になっているか確認して下さい。

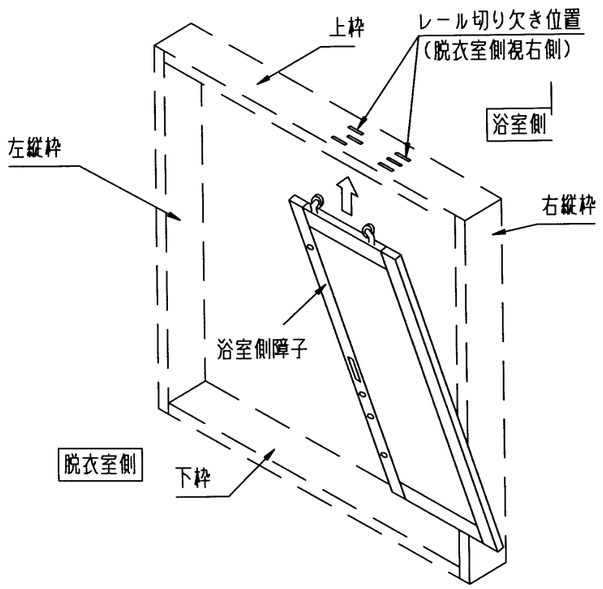
4 障子の吊り込み （説明図は、右勝手の障子吊り込み手順です。）

・障子の吊り込みは、右勝手の場合、浴室側障子 ⟶中間障子 ⟶脱衣室側障子の順に吊り込みます。
左勝手の場合、脱衣室側障子⟶中間障子⟶ 浴室側障子の順に吊り込みます。

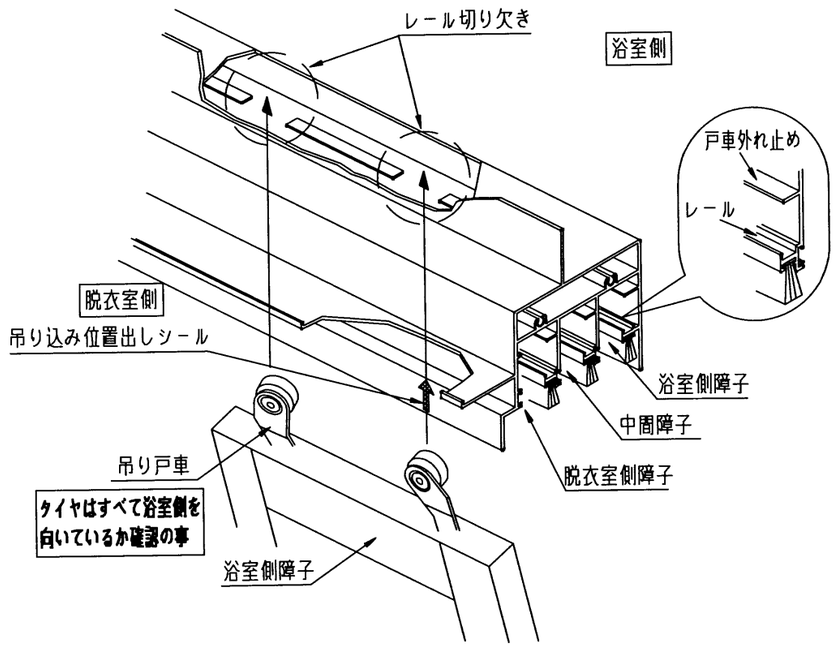
1）上枠レール切り欠き部にカバー部品が取付いてますので、取付ビスをゆるめて切り欠き部にかからない様に移動させて下さい。（6個）**（取付けビスは取り外さないで下さい）**



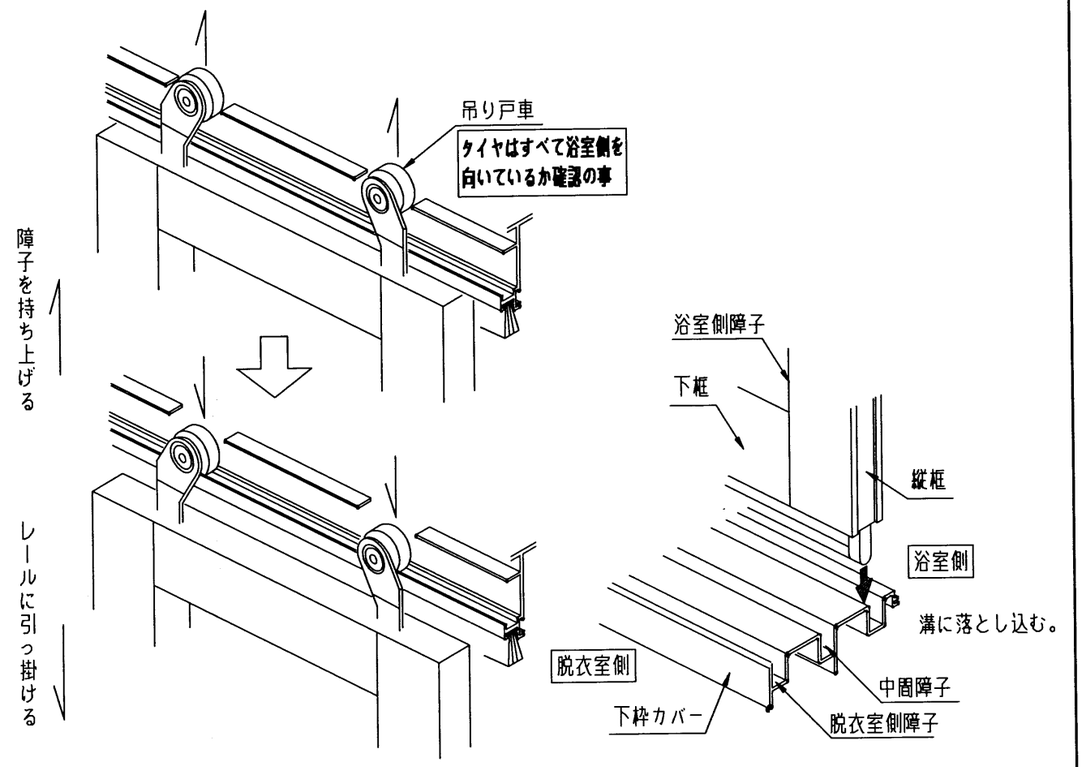
2）脱衣室側障子から吊り込みます。障子を浴室側より差し込みます。



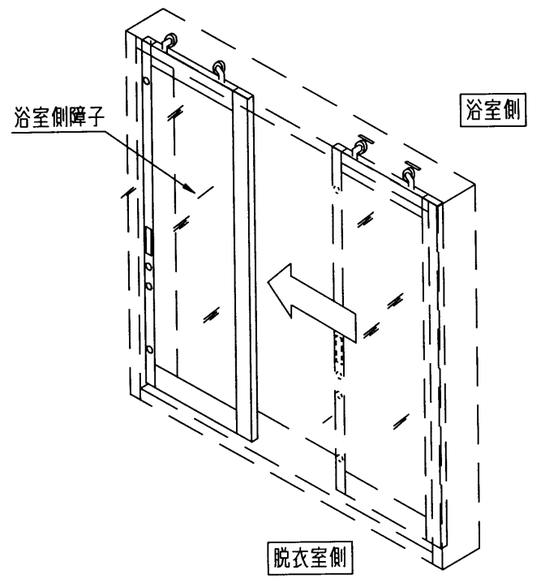
3）下図の様に上枠には吊り戸車の外れ止めに切り欠きがある箇所があります。脱衣室視右側の吊り込み位置出しシールに吊り戸車をあてがいます。



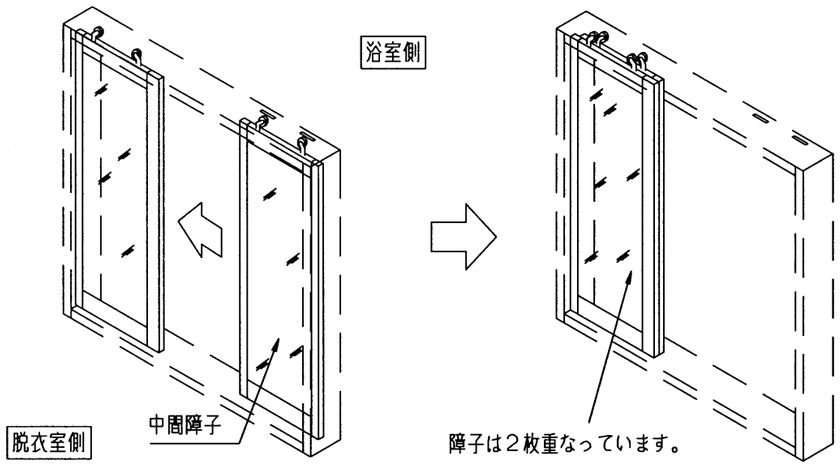
4）下図の様に障子を持ち上げて、確実に吊り戸車をレールに引っ掛けます。
同時に下框の端部を下枠の溝に落とし込んで下さい。



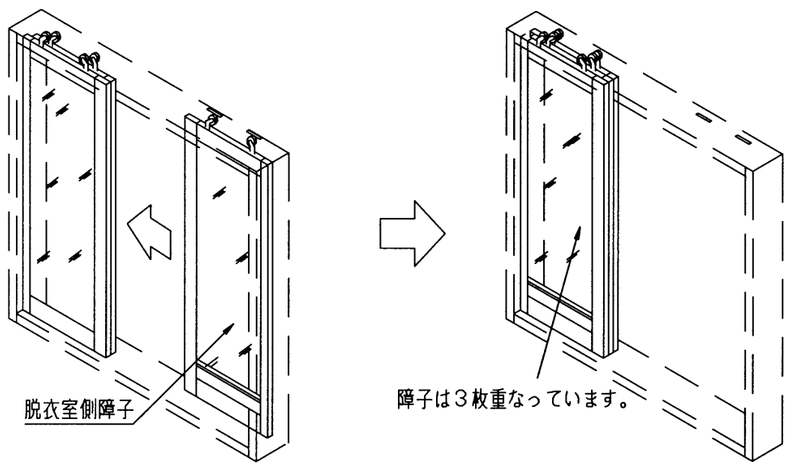
5）吊り込んだ障子を左側（脱衣室側視）によせます。



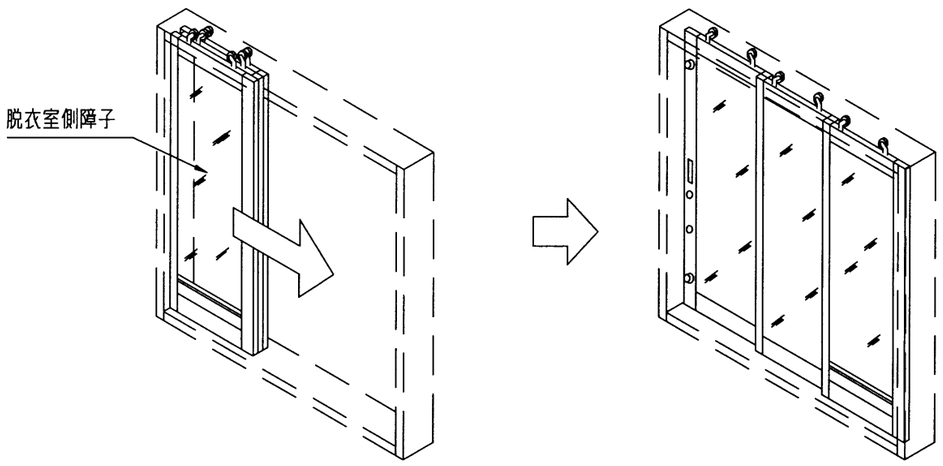
6) 同様にして中間障子を右側（脱衣室側視）で吊り込み、左側によせます。



7) 同様にして脱衣室側障子を右側（脱衣室側視）で吊り込み、左側によせます。



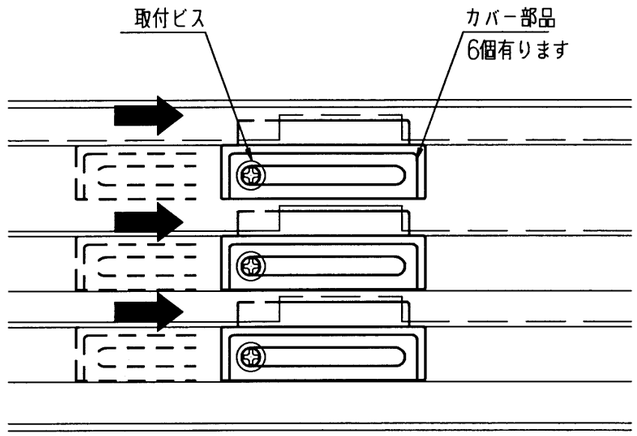
8) 障子がすべて吊り込めましたら、脱衣室側障子を右側（脱衣室側視）に引きます。



・左勝手の場合も、障子の吊り込み順序に注意しながら同じ要領で組み立ててください。

9) 吊り込み終了後、１）の作業でずらしたカバー部品を、レール切り欠き部にかかる用に移動させて下さい。（6個）

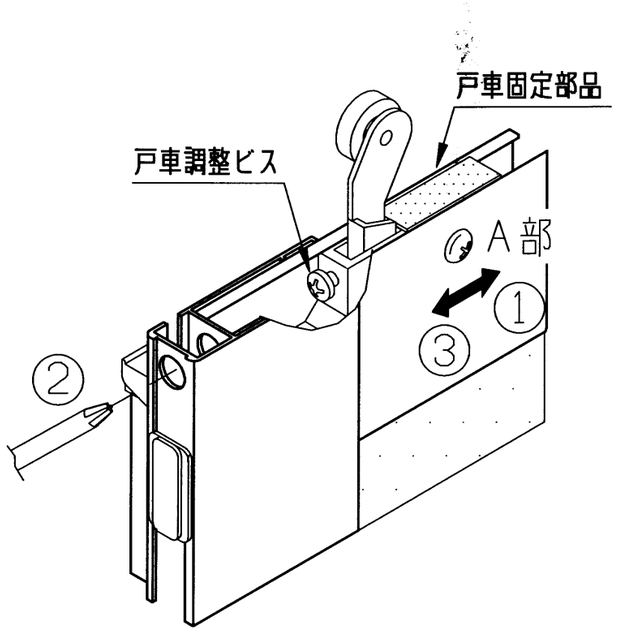
（注意）障子外れの原因になりますので、必ず行って下さい。



吊り込み終了

5 障子の調整

・縦框と縦枠の間にスキ間があいていたり、障子（下框）が下枠にスル場合、障子の上下調整をして下さい。



１） A部のビスをゆるめて、内側にずらして下さい。
（戸車固定部品も一緒にずれます）

２） 戸車調整ビスを回して上下調整をして下さい。

右回し・・・障子の調整側が上昇
左回し・・・障子の調整側が下降

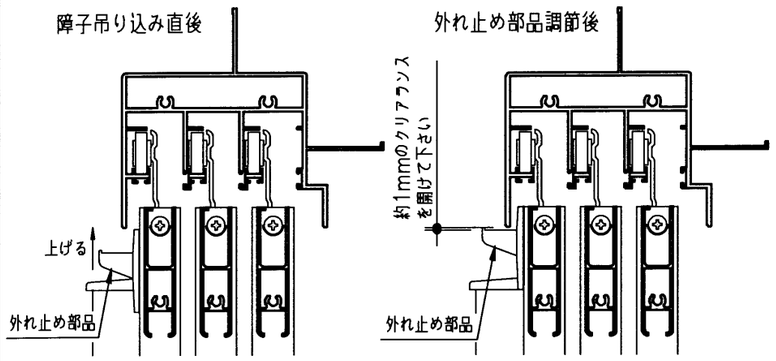
３） A部のビスを外側に戻し、戸車固定部品を戸車に押し当てる様にビスをしっかり固定して下さい。

※戸車固定部品が戸車に当たってないと走行不良の原因になる恐れが有ります。

お願い 障子調整時（下降）、障子が調整ビスをゆるめてもそれ以上下がらなくなった場合、調整ビスをゆるめないで下さい。（調整ビスが外れる事があります。）
最初の戸車設定は、下降された状態となっておりますのでご注意下さい。

6 障子外れ止め部品の調節。

・障子外れ防止の為外れ止め部品の調節をして下さい。

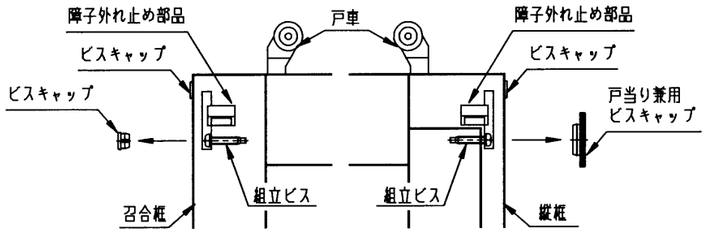


・吊り込み直後は調節してませんので以下の手順で調節して下さい。

1） 組立ビスをゆるめる。
2） 外れ止め部品を上げる。
3） 組立ビスをしめる。

お願い

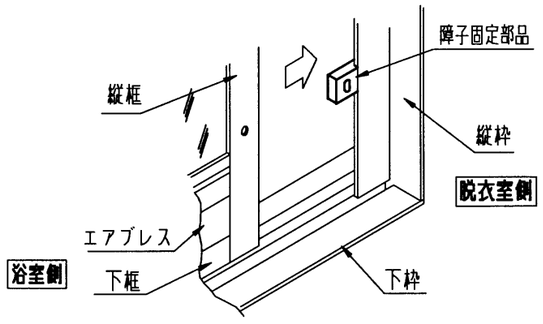
外れ止め部品を上げる時は、枠と部品のクリアランスを約1mm開けて下さい。
強く当てると障子の開閉に支障がある恐れがあります。
本部品は、縦框と召合框の上端に取り付けてますので両方の部品を調節して下さい。
調節をしないと障子が外れる恐れがあります。

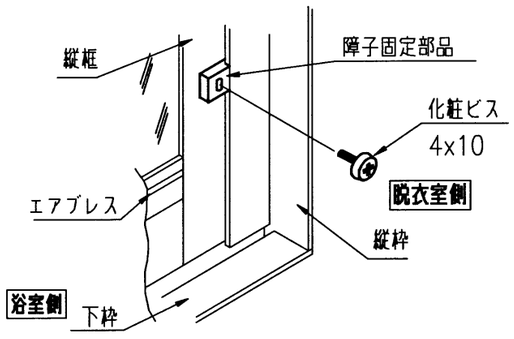


・組立ビスは2番目のビスキャップを外すと有ります。

7 障子の嵌め殺し

・障子の調整が済みましたら、固定ガラリ付きの障子を化粧ビスで固定して、ＦＩＸ障子にします。

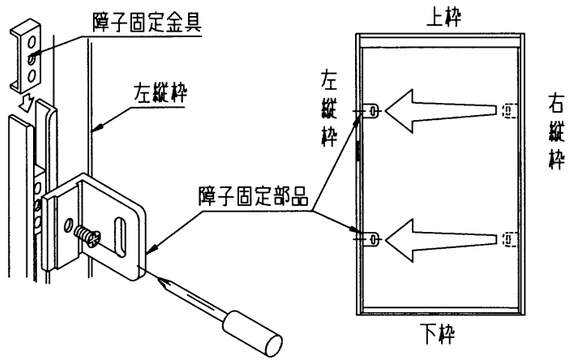


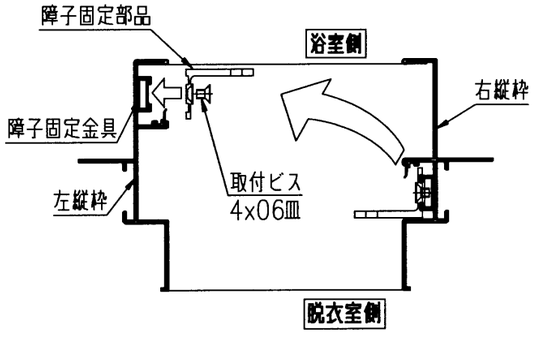


8 枠の勝手組み替えの仕方。

・本製品は脱衣室側視右勝手（右側Ｆｉｘ障子）にて組み立てられている為、逆勝手にする場合は下記の順序に従って行なって下さい。

・下図の様に右縦枠に付いている障子固定部品と障子固定金具を左縦枠に付け替えます。



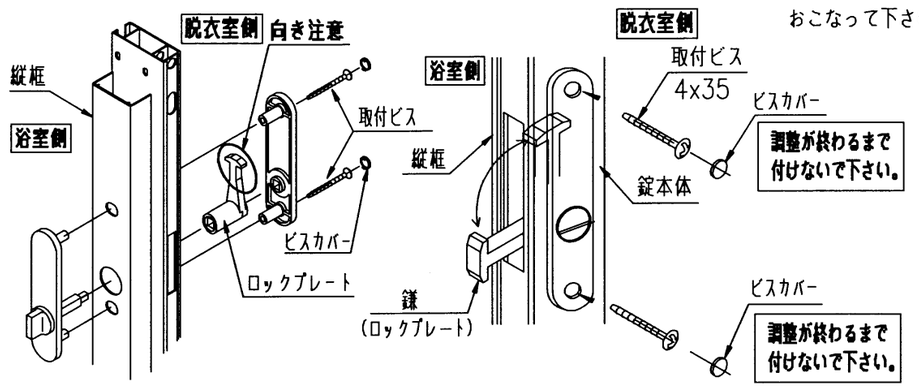


9 錠の取付

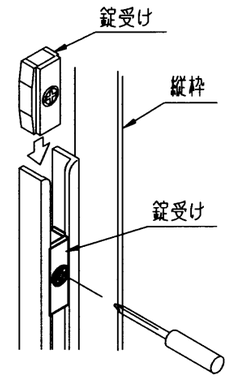
脱衣室側視Ｒ勝手

1）錠で縦框をはさむ様にしながら、脱衣室側よりビス止めします。

お願い **この時、錠（ロックプレート）は下図の矢印の動きになる様にセットして下さい。錠の調整が終わるまで、ビスカバーは付けないで下さい。**



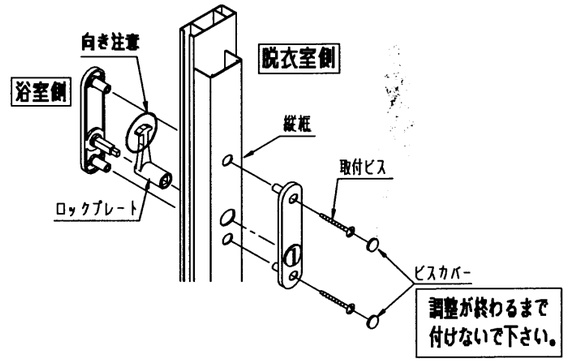
2）錠受けを下図の様に縦枠上部の切り欠きより差し込み、ビスにて固定します。この時、錠受けの位置（上下方向）は、錠を施錠、解錠することによって位置決めをおこなって下さい。



脱衣室側視Ｌ勝手

1）錠で縦框をはさむ様にしながら、脱衣室側よりビス止めします。

お願い **この時、錠（ロックプレート）は下図の矢印の動きになる様にセットして下さい。錠の調整が終わるまで、ビスカバーは付けないで下さい。**



2）脱衣室側視Ｒ勝手と同様ロックプレートと錠受けの位置あわせをして下さい。

10 引手ハンドルの取付

1） 引手ハンドルで浴室側の縦框をはさむ様にしながら、浴室側よりビス止めします。（Ｌ勝手の場合は逆になります）

